

まっすぐな心が届くとき～さわやかな子どもの姿より～

「おはようございます！」と、登校中、毎日元気な声を響かせてあいさつする子どもがいます。よく見ると、その子どもは、出会ったどの人にも毎日元気のよいあいさつを届けています。そこで、わたしは、教室で元気なあいさつの理由を聞いてみると、「大きな声であいさつをすると気持ちがいいから。」と答えてくれました。わたしは、さらにうれしくなって「毎日、元気なあいさつを届けてくれてありがとう。」という、子どもからは「どういたしまして。」との言葉が返ってきました。ほんのわずかな言葉のやりとりですが、子どものまっすぐな心が胸に響いて、温かい気持ちになりました。

また、先日の下校中には、「校長先生、お金が落ちていました。」と、100円玉を渡してくれた子どもがいました。「ありがとう。大切なお金だもの、警察に届けるね。」と子どもと約束しました。次の日、駐在所でいただいた預かり書を渡すと、うれしそうに受け取ってくれました。お金には人の思いや汗がしみこんでいます。だからこそ、今回の子どもの行為をうれしく思いました。

こうした子どもたちのまっすぐな心に日々丁寧に応えていくことが、わたしたち大人の役目だと感じます。さわやかな子どもたちに、これからも心から「ありがとう。」の言葉を届けていきます。

〈9月～10月の行事予定〉 ※コロナの影響で学校行事に変更があるかもしれません。ご了承下さい。

<p>9月 1日(火) 2学期始業式 登校指導 地区児童会 11:30下校</p> <p>2日(水) 身体測定(4～6年) 一斉下校</p> <p>3日(木) 身体測定(1～3年) 委員会活動 ※作品展は中止</p> <p>4日(金) 自然学校説明会(5年生保護者) 16:15～16:45 多目的室</p> <p>8日(火) 朝会</p> <p>9日(水) 一斉下校</p> <p>15日(火) 登校指導、朝会</p> <p>16日(水) 全校生6時間授業 一斉下校15:50</p> <p>※19日運動会当日の午後分の代替授業のため</p> <p>18日(金) 運動会準備 14:30下校1～5年 15:30下校6年</p> <p>19日(土) 運動会(午前中開催)</p> <p>※低学年9:00～中学年10:00～高学年11:00～ 分散開催 三密を避けるため地区テントはなし プログラムは、表現運動と徒競走のみ <u>12時一斉下校(お弁当はなし)</u></p> <p>20日(日) 予備日</p> <p>23日(水) 振替休業日</p> <p>24日(木) 代表委員会</p> <p>25日(金) 歯科検診</p> <p>29日(火) 朝会、人権教育講演会5・6年児童 講師:伊藤真波さん 眼科検診1・4年</p> <p>30日(水) 読み聞かせ(1～3年)</p> <p>10月 1日(木) 視力検査1年 委員会活動</p>	<p>10月 2日(金) 視力2年 PTA評議員会</p> <p>5日(月) 視力3年</p> <p>6日(火) 朝会、視力検査4年</p> <p>7日(水) 視力5年 一斉下校</p> <p>8日(木) クラブ活動 耳鼻科健診1・4年</p> <p>9日(金) 視力6年</p> <p>10日(土) 加東市小学生陸上競技大会は中止</p> <p>12日(月) 色覚検査4年</p> <p>13日(火) 朝会 避難訓練 色覚検査1年</p> <p>14日(水) 読み聞かせ(1～3年) 一斉下校</p> <p>17日(土) 学校オープン※詳しくは次号で 午前:授業参観 午後:学級懇談会</p> <p>※11月の音楽会は中止とします。学校オープンでは、 学級ごとに2分程度の音楽演奏をします。6年生は、 小学校生活最後となりますので、午後に体育館で演 奏します。参観は、A・B地区ごとの分散開催予定</p> <p>A地区(上滝野、光明寺、多井田、穂積、稻尾、曾我)</p> <p>B地区(下滝野、北野、新町)</p> <p>19日(月) 振替休業日</p> <p>21日(水)～23日(金) 5年生自然学校 いえしま自然体験センター</p> <p>※20日の5年生の下校は13時30分です。</p> <p>24日(土) 資源ごみ回収8時～予備25日</p> <p>25日(日) 北播地区小学生陸上競技記録会 三木防災公園陸上競技場(予定)</p> <p>27日(火) 朝会</p> <p>28日(水) 一斉下校</p> <p>29日(木) 代表委員会</p>
--	---

7月、「友だちウィークキャンペーン」がありました。高学年と低学年の違う学年の子ども同士が、休み時間に一緒に遊ぶという時間を持ちました。高学年の子どもは、低学年の子どもを喜ばせようと知恵を絞って考えていました。豊かなかわりの中で子どもは育ちます。With コロナの時代ですが、適度な距離を保ちつつも、子ども同士の温かいつながりは、今後も大切にしていきたいと思えます。